

編集後記

本号は例年どおり、研究所定例シンポジウムを掲載しています。「21世紀の社会保障の思考軸」がそれですが、このシンポジウム報告は29回目を迎え、その時々で社会保障や社会福祉の政策的課題を扱ってきました。したがって29回の報告はそれ自体、研究所の歴史であると同時に、わが国の社会保障の発展と政策上の問題意識の流れを跡づけるものとなっています。

自由論文では現在課題となっているさまざまな問題点について4人の専門家にご執筆いただきました。

「愛読者の皆様へ」にあるように当研究所は廃止されることになりました。そして今後新しい研究機関が誕生することになります。社会保障や福祉、そしてソーシャルポリシーに関する社会科学的研究は理論的研究であれ、実証研究であれ、制度・政策研究であれ、経済学や社会学、行政学等のディシプリンを基礎におこなわれています。経済に占める社会保障の重要性、社会構造と社会保障の関係、人々の意識や行動と社会保障の行方、これらの研究は今後ますます重要となります。その為の地味ではありますが貴重な場として本誌を活用下さい。なお、長年編集幹事であった武智、高野研究員がそれぞれ転出し、新たに丸山桂研究員が幹事となりました。武智、高野さん、ご苦労様でした。これからの活躍を期待しています。 (栃本)

編集委員長 塩野谷祐一 (社会保障研究所長)

編集委員 井堀利宏 (東京大学教授)

貝塚啓明 (中央大学教授)

郡司篤晃 (東京大学教授)

佐野陽子 (慶応義塾大学教授)

地主重美 (駿河台大学教授)

庄司洋子 (立教大学教授)

清家篤 (慶応義塾大学教授)

都村敦子 (日本社会事業大学教授)

直井道子 (東京学芸大学助教授)

橋本宏子 (神奈川大学教授)

平岡公一 (明治学院大学教授)

宮澤健一 (社会保障研究所顧問)

宮島洋 (東京大学教授)

伏見恵文 (社会保障研究所研究部長)

高木安雄 (社会保障研究所調査部長)

編集幹事 栃本一三郎 (社会保障研究所主任研究員)

駒村康平 (社会保障研究所研究員)

丸山桂 (社会保障研究所研究員)

季刊

社会保障研究 Vol. 31, No. 1, Summer 1995 (通巻128号)

平成7年6月26日 発行

定価2,060円 (本体2,000円)

編集・発行所

社 会 保 障 研 究 所

〒107 東京都港区赤坂2丁目19番8号

赤坂2丁目アネックスビル内

電話 (3589) 1381

製作・発売

財団法人 東京大学出版会

〒113 東京都文京区本郷7丁目3番1号

電話 (3811) 8814 振替 00160-6-59964